自 転 車 遊 び 研 究 所

COURSE CREATE

Open-road, Closed-circuit, School, Media, Academy

〒740-0036
山口県岩国市藤生町1-30-6
TEL 090-3170-6658
InterFAX 03-6368-4661
E-mail Coursecreate@aol.com
http://www.bike-joy.com

2013/10/30

《Bike is Good!》

自転車の良さは90%の人が指示していますが、支持率95%に向け、その普遍性や可能性を実証実験から再考してみました・・・！

スポーツの秋、10月の連休に「第21回小海マイティデューロMTB24時間耐久レース」を実施しました。共催：小海町開発公社ですが、ほぼプライベート企画と言っても良い規模です。それでもリピーターに支えられ、新規参加チームもあって、今後を期待させられます。
しかし、その連休には、学校や地域の運動会、さらに他のスポーツイベントが重なっていて、苦戦必至の状態がここ数年続いています。

そんな国民のスポーツへの関心度を調査しているシンクタンクや政府機関があるのをご存知でしょうか？毎年この時期にレポートが出されるのですが、東京オリンピックが決まったにも係らず、今回は関心度が低下しているそうです。
その中で、これからやってみたいスポーツの1位に自転車が挙げられているのは喜ばしいことですが、地盤沈下が指摘されている以上、自転車のみが伸びるとは思えません。

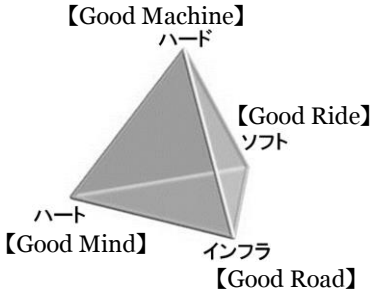
しかし、自転車の多様性は、スポーツ以外の側面でも語ることができます。

工業製品、移動手段、スポーツ機材と言った一次的側面に加え、観光・健康・エコアイテムや都市交通再生と言った二次的要素もあって、自転車の利活用の可能性は無限大です。

ところが未だに「自転車市民権」は壁の向こう側です。

その要因は色々と考えられますが、作る人、売る人、使う人、楽しむ人、仕掛ける人、管理するする人、支える人、等々、関係者が多岐に渡ることが根底にあるのではないでしょうか？
故に、全員が上がれる土俵作りが急務と思います。
時代背景もあって繰り返される自転車ブームは、それらを解決するための十分な時間を与えてくれないのは、先のMTBブームで学んでいます。

その土俵作りの候補として、車種を選ばない、ショップレベルで主催が可能、ツーリストが調査を担当し、運営は競技役員が行う、夢の自転車ソフト“THT26”は如何でしょうか？
グッドマインドをグッドマシンで学び、グッドロードでグッドライドを行えば、関係各所の理解が得られると確信しています。



【テトラバランス】
自転車環境正四面体

【Ⅰ】土俵作り企画：自転車さんぽネットワーク
地域密着マルチCCの提案！

【Ⅱ】露払い企画：フィールドアンケート
奥座敷型の代表例を具現化する！

【Ⅲ】巡業企画：一期一会の日本一周
地産地消型企画の連鎖を考える！

↑ サイクリングネットワークの再構築／別館三企画

「自転車の驚きは普遍」と言う意味を込めた「Bike is Good!」。
それをテーマに日本の風土に合った自転車遊びを探る実証実験を行ってきて、「THT26」に辿りつき、さらに副産物として見つけたのが「テトラバランス」です。

また、第一次サイクリングブームの諸先輩方の轍を見ながら、隙間的な自転車ソフト（MTBラリーレイドやブルベ）に力を入れていたところ、カスタマイズ企画にお呼びがかかる立場になっていました。
そして、2012年、2013年とサイクルエイドジャパンに関わり、普通の道を普通に走るイベントの必要性と難しさを改めて感じ、立ち上げから携わっているシマノバイカーズでは、日本の山道利用の難しさや、セキュリティの脆弱さを感じています。

この課題（自転車市民権への道）は、自転車の日常利用とスポーツ利用の融合が重要であり、普通の道を普通に走る「ポタリング」「ファストラン」「MTBツーリング」の企画を自転車ソフト三原色として提案しつつ、自転車に触れる最初の機会、「春需でソフトも売ろう！」に繋げたいと思います。

↓ 活動指針 2013～2016

コースクリエイト／いしまるひであき